

平バイパス・久之浜バイパス 岩瀬農業高等学校による現場見学会

概要

一般国道49号「平バイパス」は、いわき市の交通混雑や国道49号沿道の道路環境など、交通をとりまく環境の改善と常磐自動車道いわき中央ICへのアクセス機能強化を目的に、福島県いわき市常磐上矢田町～好間町北好間までのバイパスとして、昭和56年度に事業着手し、平成7年9月に全線2車線で暫定供用しています。平成28年度全線供用に向け、交通渋滞の著しい区間から段階的に4車線化や立体交差点へ整備し、交通混雑の緩和を図っています。

また、「久之浜バイパス」は、いわき市久之浜町における国道6号の平面線形不良区間や幅員の狭いトンネルなど、道路構造上のボトルネックを解消し、主要幹線道路としての防災機能強化を目的とした延長6.0kmのバイパスです。平成11年3月に終点側(L=2.3km)を暫定的に2車線で供用しており、残りの区間(L=3.7km)についても、平成27年度の開通を目標に事業の進捗を図っています。

この度、未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解を深めてもらうため、岩瀬農業高等学校環境工学科1年生の生徒さん40名による現場見学会を開催しました。

平バイパス・久之浜バイパス 岩瀬農業高等学校による現場見学会 開催状況

開催日時:平成27年7月13日(月) 平バイパス:10:10～ 久之浜バイパス:13:00～

開催場所:平バイパス 上荒川トンネル 及び 久之浜バイパス 改良工事

見学者:福島県立岩瀬農業高等学校 環境工学科 1年生 40名



▲平バイパスの概要や整備効果の説明



▲作業員が装備する安全防具の説明



▲濁水処理実験の説明



▲セントル(トンネル用の型枠)の説明



▲久之浜バイパスの概要や整備効果の説明



▲振動ローラの実演で地面の揺れを体験